



私と消防団 愛南町消防団長 坂本 譲司さん



▲防火パレードで保育所を訪問し消火体験を行うなど、工夫した活動を展開

“地域防災の要である自覚と誇り、広げる人脈と絆”

今から33年前、先輩からの誘いを受けて消防団に入団した坂本^{じょうじ}さん。令和6年度から愛南町消防団の団長を務めており、「大変な重責と感じたが、町のために少しでも役に立ちたい」との強い思いで約900人の団員をけん引しています。

多種多様な年代・職種の人たちによって構成され、地域防災の要である消防団の強みは地域密着型であること。坂本団長は、「災害時の早期対応、特に初期消火や救助活動において迅速な対応力がある」と自信をもって話します。一方で、激甚化している近年の災害発生状況を踏まえ、「消防団の対応力がこれまで以上に必要だと感じます。いかなる災害にも団員一丸となって立ち向かえるよう、訓練の実施だけでなく団員同士のつながりも強化していきたい」と話す坂本団長も、消防団のさまざまな活動を通して人脈を広げることができたと振り返り、つながりの大切さを強く感じています。

若い頃には操法大会出場に向けた練習に汗を流したという坂本団長。家族の時間を確保するのも難しいほど操法の練習にかなりの時間をつぎ込んだと言い、「練習で汚れた活動服の洗濯など、家族の温かい支えがあったおかげで当時の私は全力で操法練習に取り組むことができました。その結果、団員同士の絆を深めることができ、今の私につながっている」と感謝の思いを笑顔で話します。

団長として地域の方から感謝や激励の言葉をもらう機会もあるそうで、先輩方から引き継いだ消防団のさらなる発展に強い意欲を見せる坂本団長。より一層の機能強化と発展に向け、若い世代や女性団員の入団促進、消防団の活動周知にも尽力したいと、情熱の炎を燃やしていました。

編集後記

河内晩柑アンバサダーのフレデリック氏とバイヤーのファブリス氏が来町した際、私も園地に同行しました。収穫体験では、二人はよほど面白かったのでしょうか、かごいっぱい収穫しました。河内晩柑は4月から7月ごろまで食べられる柑橘で、収穫時期により味わいの変化が楽しめるのが特徴です。

どの時期も美味しいですが私は、夏の頃のぱりぱり食感の河内晩柑が好きです。皆さんはどの時期がお好みでしょうか？

毎年恒例となっている池田牧場での命の授業。今年も20人の1年生が池田牧場を訪れ、命をいただくということについて、五感をフルに使い学びを深めている姿が印象的でした。

私が広報係1年生のとき、池田牧場を舞台に初めて特集記事を作り、当時の取材を通して命をいただくということのありがたみを強く感じました。今回見学した児童のみんなにも、池田さんの思いが少しでも伝わり、記憶に残っていると嬉しく思います。

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

愛南町の世帯数と人口	
令和7年7月1日現在	
世帯数	9,734世帯（-19世帯）
人口	18,241人（-42人）
男	8,646人（-19人）
女	9,595人（-23人）
愛南町の高齢化率	47.8%
※（）内は前月比	
●10年前 同月の人口	28,251人